

十八軒青年会 2018 年 1 月度定例会

2018 年 1 月 28 日（日曜日）
関口景三さん宅

○ 報告事項

1. 自治会定例会（12 月 17 日）

- 1) 各参加済み、参加予定の会の紹介
- 2) 2018 年度 会長の人選に関しては、1 月定例会で皆さんの意見を聞きたい
- 3) 次回定例会
1 月 28 日（日） 19:00

2. 子供会の今後について

12 月 23 日（土）イオン 4 階にて
提案資料、話し合い内容は添付

3. 自治会－青年会の意見交換

1 月 21 日（日） 14:00 に水神宮で話し合いを持った

4. 山崎会長からの電話（1 月 27 日）

- 1) 子供会の件は、執行部会で討議していないので、2 月の定例会にしてほしい（了解）
- 2) 1 月 21 日（日）に水神宮で話し合ったが、全く和解とは程遠く申し訳なかった。今後とも努力を続けた
いのでよろしくお願いしたい。

○ 協議・確認事項

1. 自治会定例会

1 月 28 日（日曜日） 19:00- 出席

2. 次回定例会

3 月 3 日（土曜日） 20:00 - みかわや にて

以上

2017 年 12 月 23 日

十八軒青年会 会長 花岡 和彦

1. 十八軒子供会の現状

子供の会員が集まらず、お母さんの参加も難しい
自治会長 山崎さん預かりで、休会となっている

2. 十八軒子供会の活動再開案の前提

- 1) 組織体としての「十八軒子供会」を再開・維持することは非常に厳しい
- 2) 近年の「十八軒子供会」としての活動は、「盆踊りの模擬店」と「歳末夜警の協力」のみ
- 3) 費用がかかるのは、「盆踊りの模擬店」のみ
- 4) 「十八軒子供会盆踊り」としての利益は不要（収支で赤字が出なければよい）
- 5) 山崎会長預かりの十八軒子供会の剰余金は、384,075 円

3. 具体的な方策（十八軒青年会案）

- 1) 十八軒青年会に「子供会部」を新設する
- 2) 「子供会部」の部長は、十八軒青年会 会計部長が兼務する
- 3) 「十八軒子供会部」は、「十八軒盆踊りの会計・収支報告・剰余金」を管理し、十八軒青年会会計とは、完全に分離した独立会計とする（管理用銀行口座を開設する）

4. 十八軒盆踊りの運営

- 1) 「十八軒子供会 盆踊り」を支援するお母さんは「十八軒青年会 子供会部 賛助会員」とする
- 2) 「十八軒青年会 子供会部 賛助会員」からは、十八軒青年会の会費を徴収しない
- 3) 「十八軒青年会 子供会部 賛助会員」は、5 月、6 月、7 月の十八軒青年会定例会に参加し、「子供会 十八軒盆踊り」の段取りを協議する
- 4) 盆踊りの参加団体名は「十八軒子供会」を使用し、十八軒自治会に使用許可を受ける
- 5) 十八軒自治会からの補助金は受領しない
- 6) 「十八軒子供会 盆踊り」会計収支で赤字が出ないように管理し、剰余金は基金として維持する
- 7) 対象の十八軒青年会賛助会員の範囲は、十八軒自治会の西部、中部地区中心で始め、範囲を広げすぎない。また限定もしない
- 8) 十八軒自治会会員ではない第五葛西小学校の子供、第三葛西小学校などのコミュニティなどを活用する案もある
- 9) 「十八軒青年会 子供会部 賛助会員」を少しずつ増やしていくのがポイント
- 10) 「十八軒青年会 子供会部 賛助会員」との懇親・慰労は、「十八軒青年会バーベキュー大会」「十八軒青年会新年会」を活用する
- 11) 懇親会費用は、盆踊りの収益範囲内で支出する（基金としての剰余金を減らさない）

5. 十八軒青年会 歳末夜警

- 1) 歳末夜警の 1 日を「子供夜警の日」とする
- 2) 「十八軒青年会 子供会部 賛助会員」が中心となり、子供の参加を呼び掛ける
- 3) 参加後の子供に対する「ご褒美」は、盆踊りの収益範囲内で支出する（基金としての剰余金を減らさない）
- 4) 記念写真を撮っても良いかもしれない（青年会会報に記載）

山崎様

12月22日 山崎さんとの話を記録に残しました

2017年12月22日 花岡

2017年12月23日（土曜日）10:00 イオン4階にて山崎さん、花岡の2人で「子供会の今後」に関する話し合いを行いました。

1. 子供会の今後

山崎会長が、山崎会長預かりになっている「子供会休会」に関する提案を「青年会」から確かに承りました。

山崎会長から、十八軒自治会の執行部にはかり、1月28日（日曜日）の自治会定例会に協議事項として、提出したいとのコメントをいただきました。

2. 山崎さん個人からのコメント

これは、十八軒自治会長としてではなく、山崎さん個人の意見として聞いてもらいたいと以下のような話をされました。

- 1) 青年会は、寿会や婦人会、子供会、消火隊と同じように、十八軒自治会の下部組織だと考えている
- 2) 水神宮も十八軒自治会の下部組織
- 3) 細かな話をすると、十八軒青年会は自治会館の使用や水神宮の社務所の使用、回覧、チラシの配布は、十八軒自治会の費用（自治会員の会費）の一部を使っていることになる
- 4) 過去に、青年会は自治会からは独立して活動すべきだという経緯は十分に理解している
- 5) 青年会が自治会の下部組織であるという意味で、十八軒青年会も、十八軒自治会からの助成金を受け取り、会計など必要情報を十八軒自治会に報告すべきだと思う
- 6) 会長になって過去の十八軒自治会傘下の各団体の情報がきちっと管理されていないことが分かった
- 7) それで、十八軒自治会傘下の各団体に情報を提供していただくようお願いした
- 8) これは、十八軒自治会の会長が、総会で質問を受けた際、会長としての責務だと思っているからだ

3. 山崎さんのコメントに対する花岡の意見

- 1) 1)-3) の各団体が十八軒自治会傘下であることは、理解できる
- 2) 一連のやりとりの中で、塚田さんや小林さんからは「提出していないのは青年会だけだ」などという高圧的だと受け止められかねない言い方だけがおかしいと思う
- 3) 十八軒青年会の活動やメンバ構成、会計報告は「十八軒青年会総会資料」に詳細に記述しており、青年会の総会に出席している自治会役員は受け取っているはず
→ そういう認識は、全くなかった（山崎さん）
- 4) それは、青年会にも認識が足りなかった。これからは、十八軒自治会宛に総会資料を「提出」するようになりたい
- 5) 自治会からの助成金に関しては、花岡個人は、受け取っても良いと思っている
- 6) 十八軒青年会が十八軒自治会からの助成金を受け取った上で、同額もしくはそれ以上の金額を「上納金」として納めることを青年会で合意できるよう調整してみる
- 7) 子供会に関しても「助成金」を受け取り「上納金」を納めることの是非を話し合いたい

4. これまでの「もめごと」の和解

こうした話の一環で、以下のような経緯と状況を山崎さんにお伝えしました

- 1) 塚田さん、野上さん、小林さんが、山崎さんの意図を正しく伝えられていないのが問題の発端じゃないのかと思います
- 2) 会計部長の小林さんは、「顛末書」や「個人情報保護法」、「会計の役割」など、言い方には若干の問題はありますが、花岡は、小林さんがどのように考えてこうした発言をするのかはよく分かります
- 3) 一方、塚田さんからは直接私が何かを言われたことはありませんが、船橋さんからの話を聞くと、「要件だけを背景なく一方的に伝える」だけで、あれでは塚田さんに協力していこうという人はいないと思います
→ 山崎さんは、消火隊の酒井さんから同じようなことを言われたとおっしゃっていました
- 4) 野上さんは、青年会のメンバでもあり、今回の経過をたどる中、青年会の議論にも加わっています
- 5) 盆踊りの参加許可が出ていないという最終局面では、船橋さんは、「臨時定例会に野上さんを呼ばない」とも主張しましたが、私は「野上さんは呼ばないとダメ」と主張し、野上さんは参加しました
- 6) 私からみると、野上さんは自治会、青年会に「その場しのぎ」で迎合する発言が多いような感じがします
- 7) 野上さんは、また都合が悪くなると、「聞いていない」「知らない」と責任逃れをするように感じました
- 8) 盆踊りの参加に関しては、書類の不備を小林さんや塚田さんから指摘されないように、青年会定例会の場で、船橋さんに青年会 会長の署名捺印をしてもらい、盆踊り実行委員長である野上さんに直接受け取ってもらうという、強引な手を使いました
- 9) その場で、船橋さんからは「十八軒青年会 会長は続けられない」と言われたので、私が会長職を引き受け、船橋さんに「事務局長」になってもらうことにしました
- 10) 今回の一連の状況のそもそもの原因は、塚田さんの「一方的な言い方」と野上さんの「優柔不断さ」だというのが、私個人の感想です

5. 自治会からの助成金に関して（山崎さんには話をしていません）

自治会からの助成金を、盆踊りの収支でやり取りをするのは変で、青年会として年度のはじめで助成金を受け取り、年度の終わりで剰余金として自治会に戻すのが良いと思っています

自治会が了解するのが前提ですが、自治会で承認されれば、青年会の総会で決めていきたいと思います

6. 山崎さんからの提案

このまま、自治会と青年会がわだかまりをもって、運営していくのは良くないと思っているとのことです
山崎さんが、塚田さん、野上さん、小林さんに声をかけ、青年会と、話をし、わだかまりを解く「会」を行いたいとのことです

船橋さんには、ぜひ参加してほしいとのことです

私と話をした経緯に関しては、山崎さんからその会で、塚田さん、野上さん、小林さんに伝えるとのことです

青年会からは、花岡、菊地、船橋 3名で対応したいと思いますが、どうでしょう？

山崎さんからは 1月21日（日曜日）で調整するとのことです

以上